

# レ・コードのちから



## レコードコンサート

今月は、毎月第2水曜日に行っているレコードコンサートについて紹介します。

レコードコンサートは、毎月テーマを設定し、テーマに沿った選曲でプログラムを構成して行われます。

5月のレコードコンサートは「サイモン&ガーファンクル」の特集を行いました。ヒット映画の挿入曲として有名な「サウンド・オブ・サイレンス」「スカポロー・フェア」「ミセス・ロビンソン」といったナンバーは、映画ファンならずとも、一度は聴いたことのある名曲。それらのナンバーをし・コードホールで鑑賞しました。ポール・サイモンとアート・ガーファンクルが奏でる叙情的なヴォーカル&ハーモニー、ナチュラルに響く美しいメロディ、そして澄み渡った音色に参加者は満足の様子。これからも多くの方々に喜ばれるテーマを設定し、レコードコンサートを開催して行きますので、楽しみにしてください。レコードコンサートについてのお知らせは毎月発行の「まなボード」に掲載されます。またし・コード館受付カウンター横に今月のレコードコンサートとしてお知らせしておりますので、ご覧ください。

## 音楽と癒し①

レコードコンサートは参加する方々にとって思い出に触れる時間そしてリラクゼーション(癒し)の時間になればと思って開催しております。今月と来月の2回に渡って、「音楽と癒し」について触れてみたいと思います。

「癒し音楽」の始まりは1986年に打ち上げられた旧ソ連の宇宙ステーションミールの乗組員が、長い宇宙生活でストレスがたまらないようにと旧ソ連の宇宙開発局が音楽会社に発注し、作られたのが始まりと言われていいます。その後は今も活躍するエンヤ、ジョージウィンストンなどというヒーリング専門の音楽家が登場します。日本では当初は鳥の声、風の音が癒し音楽の中心だったようです。そして1998年頃から癒し音楽としてヒーリングミュージックが流行します。坂本龍一のEnergy flowは歌のない曲として初めてオリコン1位になったのは記憶に新しいのではないのでしょうか。このようなヒーリングブームの背景には、当時は「不景気」「倒産」「リストラ」が社会問題となっていた時代、生活に悩む現代人が心の安らぎを癒し音楽に求めたのかもしれない。



## 小竹町長の動静 & まちのできごと

5月 ●は町長出席

- 1日、特別養護老人ホーム恵寿荘増床開設セレモニー ● 8日、第2回臨時会 ● 11日、NI・SPO設立総会 ○ 11日、例月出納検査 ● 20日、庁内会議、新冠町商工会通常総会 ● 22日、新冠町交通安全推進委員会定期総会、● 23日、住宅型有料老人ホームおうるの郷2号棟オープニングセレモニー ● 24日、支庁制度改革等に係る日高地域意見交換会 ● 25日、入札、ホッカイドウ競馬振興(株)株主総会(日高町) ● 26日、(有)日高軽種馬共同育成公社株主総会、● 28日、新冠建設協議会安全大会、(株)新冠ヒルズ株主総会、● 28日、第3回臨時会、新冠町観光協会総会 ● 29日、新冠町自衛隊協力会総会 ○ 29日、第47回新冠町家畜共進会、(有)にいかっぶホロシリ乗馬クラブ定時社員総会 ○ 30日、新冠判官太鼓保存会総会 ● 31日、日高中部消防組合技能訓練大会

人の  
うごき  
(平成21年5月末現在)

人口	5,880人	(前月比 - 4人)
男	2,866人	(前月比 + 2人)
女	3,014人	(前月比 - 6人)
世帯	2,623世帯	(前月比 + 5世帯)
外国人登録者	42人	

